

令和3年第1回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和3年1月19日(火) 午前9時30分					
開 会 場 所	中央公民館 2階 集会室					
開会の日時・宣告者	令和3年1月19日(火) 午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和3年1月19日(火) 午前11時36分				山西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出席
	職務代理者	会 田 研 司	出席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出席
	教 育 委 員	尾 島 紗 緒 里	出席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出席
傍聴人：0人			書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒			
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	手 島 秀 明				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	指 導 課 長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	百 瀬 修				
	郷土資料館長	原 太 平				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 前回会議録の承認</p> <p>日程第2 協議事項 教職員の不祥事防止と 資質の向上について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和2年第12回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>指導課長 教職員の不祥事防止と資質の向上について、資料により説明する。 《質疑》</p> <p>岩崎委員 一部の教職員の不祥事により、全ての教職員の信頼が薄れてしまうのは非常に残念だと思う。今後不祥事防止と資質向上の取組を継続していただきたい。 なお、人事評価制度は、管理職による指導や自身を見つめなおすという点で非常に有効だと思うが、評価される側が評価する側をチェックする機能が抜けていると感じた。すでに取り組みられているかと思うが、現場の教職員の声には是非、耳を傾けていただきたい。</p> <p>指導課長 学校現場や教職員の様子を把握するため、適宜、学校訪問を行っており、各教室の視察を行うとともに、機会があれば教職員と直接話をして、相談等にもものっている。 不祥事が無くならない要因の一つには、当事者意識の欠如ということもあるので、この点も踏まえて引き続き学校と教育委員会が連携して不祥事の防止に取り組んでまいりたい。</p> <p>高島委員 我々の時代は、若手教員が校長と話す機会は殆ど無かつ</p>

たが、人事評価制度が導入されたことで、教職員が校長の目指す学校像に沿って目標設定をしているか、またその目標に向かって適切に取り組んでいるか、面談を通して確認するため、コミュニケーションの機会が増えて良かったと思う。しかし、この人事評価が給与に影響するのは問題だと思う。岩崎委員がおっしゃるとおり、評価する側がこの制度の趣旨を理解し、自身も資質の向上を図ることが重要である。

藤沼委員

教員による不祥事の約7割が、わいせつ行為というのは非常に残念である。わいせつ行為により懲戒免職となった教員が、3年後には教員免許を再取得できるが、子どもたちに与えた影響を考えれば永久失効でも良いかと思う。文部科学省が、わいせつ行為による懲戒免職で免許を失効した教職員の氏名とともに、新たに処分理由を官報に明示できるよう教員免許法施行規則を改正するとともに、官報の検索期間を5年間から40年間に拡充することで、抜本的な対策を取る方針を明らかにしたそうだが、これは良い判断だと思う。

尾島委員

県から示されている事故・不祥事等防止のためのチェックリストは、幸手市でも活用しているのか。また、チェック項目が非常に多いが、全てチェックしているのか。

指導課長

教職員事故防止強化運動期間中にチェックリストを活用するとともに、各校で毎月開催している倫理確立委員会で本資料を活用して研修等を行っている。なお、項目が多いので、チェックする項目と期間を分けて活用している。

高島委員

調査には、結果を集約して傾向を見るという役割のほかに、回答を通して回答者に規律の再認識を促す指導的な効果もあり、非常に重要な取り組みである。

藤沼委員

私が勤務していたコンピューター関係の企業ではデータ漏洩が命取りとなることから、毎月月末になると自席のパソコンに情報セキュリティに係るチェックリストがポップアップで表示され、必ず回答するよう求められていた。人間は、最初のうちは緊張感があっても、月日が経つ

につれて気が緩んでしまう傾向にあるので、チェックリストの取組は、非常に有効であると思う。

教育長

学校では、チェックリストの活用のほか、日報や週報といった定期的な打ち合わせの中で互いに確認する取組をしている学校もある。

高島委員

民間は、組織全体でチェックする仕組みがあるが、特に小学校の教員は個業化なため、例えば体罰などの問題が表面化しづらい環境である。問題が潜在化しないようにするためには、繰り返しになるが教員同士のコミュニケーションが必要で、簡単ではないが、そのための環境や関係作りが重要である。

会田職務代理者

昔と比較して、校長や教頭といった管理職との壁は低くなったと思うが、それでも不祥事が無くならないのは、本当の意味で風通しの良い職場になっていないのではないかと思う。社会全体が集団より個々の生活に重点を置く傾向にあり、勤務時間外に上司や同僚と食事や旅行に行く機会も減ったと思う。仕事のことだけではなく、家庭や個人の悩みも本音で話し合えるような組織や人間関係を構築できれば、不祥事も無くなるのではないかと思う。

高島委員

私の経験だが、初任者研修で指導が終わった後に若い教員に「毎日大変だね。」と声を掛けたらボロボロ泣き始めたことがあった。教員は様々なストレスを抱えていると思うので、教育委員会が指導等で学校を訪問した際は是非、日々の生活等についても教員に聞き取りや声掛けをしていただきたい。相手の気持ちに立って本音を聞き出し、理解してあげることが、実は資質の向上につながるとともに、事故防止にも結び付くかと思うので、既に取り組まれているとは思いますが、改めてお願いしたい。

会田職務代理者

市費負担職員のうち、「スクールサポートスタッフ」と「学習生活支援員」の違いを伺う。

指導課長

「スクールサポートスタッフ」は国・県の補助事業で、教職員の負担軽減を目的に、平成30年9月から各校に1人

<p>日程第 2 議 事 議案第 1 号 幸手市指定文化財の指 定について</p> <p>議案第 2 号 幸手市郷土資料館設置 及び管理に関する条例 施行規則の一部を改正 する規則</p>	<p>配置している。 「学習生活支援員」は、新型コロナウイルス感染症の感染 拡大を受けて、子どもたちの学習と生活を支援する目的 で配置したもので、県では小学校各 2 人、中学校各 1 人、 という基準を設けているが、幸手市では小学校各 3 人、中 学校各 2 人の配置を令和 2 年 9 月から進めている。</p> <p>会田職務代理者 学校で大規模なクラスターが発生していないのは、手洗 いや換気がしっかりとできているからだと思う。教員の 皆様に感謝する。市費負担職員の配置は、校長も感謝して いると思う。</p> <p>社会教育課長及び郷土資料館長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p> <p>社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑無し。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>日程第 3 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>教育長 1 各種教育長会議等 2 講演等 について資料により説明する。</p> <p>教育部長 1 感染者の状況 2 市立学校の臨時休業の状況 3 感染症防止対策のための取り組み</p>

	<p>総務課長 G I G Aスクール構想に係る学校 I C Tの整備について</p> <p>指導課長 1 幸手市ウィンター教育セミナー「幸手・桜の学びセミナー」特別講演会 2 今後の主な行事予定 3 入学説明会</p> <p>指導課長（吉田幼稚園） 今後の行事予定</p> <p>社会教育課長 1 緊急事態宣言発令に伴う施設の対応 2 令和3年幸手市成人式</p> <p>社会教育課長（公民館） 1 数学基礎講座 ※中止 2 マットピラティス講座 3 西公民館主催事業（ふれあいサロン）※中止 4 修繕工事 5 12月の利用状況</p> <p>社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 5 購入図書リスト</p> <p>社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 今後の主な行事予定 について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>岩崎委員 先日開催された成人式について、コロナ禍で中止とした自治体が多い中、幸手市では十分な感染対策をとって開催したことは大変良かったと思う。感謝する。 話が変わるが、将来的にランドセルからリュックに移行してはどうか。ランドセルは高価で、家庭の経済的事情が</p>
--	--

反映されやすいので、校外学習や修学旅行にも使えて、かつタブレット端末も収納できるような安価なリュックを学校の統廃合に合わせて導入し、市の財源の問題もあるが、可能であれば市から毎年、新1年生に贈呈できたら良いと思う。

教育長

今後の検討課題として承る。

高島委員

2点質問と1点お願いがある。

1点目は、コロナ対策について、陰性の判定があった教員の動向について伺う。先月、私の親族が濃厚接触者としてPCR検査を受検し、結果は陰性だったが、2週間出勤しないようにとの指示があった。

2点目は、緊急事態宣言の発令に合わせて退勤時間を早めるよう要請が出ているが、教員への指導状況を伺う。

3点目は、GIGAスクールの取組についてお願いがある。ICT教育には、情報活用能力の育成とICT活用能力の育成の2点があるが、どちらかというところだとICT活用能力の育成に力点が置かれがちである。学習指導要領では、情報モラルを含めた情報活用能力の育成が趣旨だと思うので、その点を踏まえた指導をお願いしたい。

指導課長

1点目だが、当該教員は濃厚接触者では無かったが、居住地の自治体で自主的にPCR検査を受検し、陰性の判定を受けたものである。そのため、通常通り出勤している。なお、濃厚接触者の判定を受けてPCR検査を受検し、陰性の判定が出た場合でも、保健所から出勤や外出自粛の指示がある場合は、それに従うこととなる。

2点目だが、1月13日に開催した校長会で、出退勤を含めた教員の働き方の再考をお願いするとともに、20時には帰宅できるような退勤の協力を要請したところである。

最後に3点目だが、情報活用能力とICT活用能力を共に習得させることが重要だと考えている。情報モラルに関しては、今までも指導しているところだが、GIGAスクール構想を踏まえ、より一層の指導を学校にお願いしていく。

尾島委員

<p>日程第4 その他 1 次回定例会の日程</p> <p>2 次回の協議事項</p> <p>3 令和3年度教育委員会定例会等実施予定(案)について</p>	<p>12月に郷土資料館で開催された「ものづくり体験学習講座」のうち、「勾玉づくり」だと児童9人、保護者4人と具体的な報告があったが、10人の参加があった「藁で作るお正月飾り」は、どういった方が参加されたのか。</p> <p>社会教育課長 大人の参加のみである。</p> <p>岩崎委員 前回の定例会で、いじめの調査事案が1件あるとの報告があったが、進捗を伺う。</p> <p>指導課長 弁護士、医師、臨床心理士など、各分野の専門家で構成する調査委員会を立ち上げ、それぞれの立場で調査をしていただいているところである。</p> <p>岩崎委員 いじめの問題もそうだが、目に見える部分だけに注目するのではなく、そこに至るまでの背景や経過を十分汲み取って対応いただきたい。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、2月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第2回教育委員会定例会 日時 令和3年2月9日(火) 午前9時30分～ 場所 市役所第二庁舎 2階 第1会議室A</p> <p>総務課長 2月は、主な議題として令和2年度補正予算案と、令和3年度当初予算案の説明があることから、割愛させていただく。</p> <p>総務課長 資料により説明する。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p>
---	--

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>なし</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和3年 2月 9日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p>署 名 委 員 尾 島 紗 緒 里</p>